

(社)日本時計学会 平成18年度事業計画書

(平成18年1月1日から平成18年12月31日)

・事業計画

1. 研究会、学術講演会等の開催

(1) 学術講演会

マイクロメカトロニクス講演会を9月に中央大学で開催する。
研究論文発表20件程度を予定する。

(2) 研究会

時計及び時計応用技術に係わる最先端のテーマを2件選定し、専門の講師を招いての研究会を、3月及び11月の2回中央大学理工学部教室で開催する。

(3) 見学会

会員の研修のため、産業界で顕著な業績を挙げている工場、研究機関等の見学会を6月に行なう。

2. 時計及び時計応用技術に関する調査研究

時計及び時計応用技術に関する調査研究を行うため、特定のテーマを設定して複数の分科会を発足させる。分科会メンバーは10～20名程度とする。年4回程度の研究会を開催し、調査研究の成果は報告書または学会誌の記事によって報告する。

3. 学会誌、学術図書等の刊行

(1) 学会誌「マイクロメカトロニクス」を下記のとおり年2回発行する。

Vol. 50, No. 194:平成18年 6月、450部

Vol. 50, No. 195:平成18年12月、450部

(2) 学術講演会講演論文集を年1回発行する。

マイクロメカトロニクス学術講演会講演論文集:平成18年9月、150部

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

青木賞表彰委員会を設け、平成17年度の日本時計学会誌「マイクロメカトロニクス」に掲載された研究論文を審査し、当学会初代会長青木保博士を記念した青木賞の第40回受賞研究論文を1編選考する。

マイクロメカトロニクス学術講演会の際、第40回青木賞贈呈式を行なう。

5 . 内外関係機関等との交流及び協力

米国 National Institute of Standards and Technology、National Association of Watch and Clock Collectors、LIB.of Congress、英国 The British Library、Michael Faraday House、LIB.of Japanese Science & Technology、ロシア The Inst. of Scientific & Technical Informatin(VINITI)、ドイツ Universitats-und Technische Informationbibliothek との機関誌等の交換を行なう。

研究会を日本機械学会、応用物理学会、電子情報通信学会等関係学会と協賛して開催する。

．会議に関する事項

- 1 . 理事会を 4 回以上開催する。
- 2 . 総会を 2 月及び 1 2 月に開催する。
- 3 . 運営委員会を 4 回程度開催する。
- 4 . 各分科会を 4 回程度開催する。
- 5 . 企画委員会を 3 回程度開催する。
- 6 . 青木賞表彰委員会を 2 回程度開催する。
- 7 . 事業委員会を 4 回程度開催する。
- 8 . 出版校閲委員会を 4 回程度開催する。
- 9 . 庶務会計委員会を 2 回程度開催する。

(社)日本時計学会

平成18年度収支予算書

平成18年1月1日から平成18年12月31日

科目	平成18年度 予算額	平成17年度 予算額	増減	備考
収入の部				
1 基本財産運用収入	200	10,250	10,050	
基本財産利息収入	100	250	150	
運用財産利息収入	100	10,000	9,900	
2 入会金収入	1,400	10,000	8,600	
入会金	1,400	10,000	8,600	
3 会費収入	3,720,000	3,000,000	720,000	
正会員	1,150,000			230人×5000円
学生会員	15,000			15人×1000円
賛助会員	2,500,000			100口×25000円
購読会員	55,000			11件×5000円
4 事業収入	163,600	233,600	70,000	
事業収入	130,000	200,000	70,000	学術講演会、研究会(年2回)
広告収入	33,600	33,600	0	
5 雑収入	150,000	600,000	450,000	論文複写、学術講演会懇親会寄付金含む
雑収入	150,000	600,000	450,000	
当期収入合計 (A)	4,035,200	3,853,850	181,350	
前期繰越収支差額	80,000	600,000	520,000	
収入合計 (B)	4,115,200	4,453,850	338,650	
支出の部				
1 事業費	2,090,000	3,387,000	1,297,000	
会議費	50,000	130,000	80,000	会場費、企画委員会他
学術講演会費	300,000	600,000	300,000	年1回(講演料、アルバイト代、論文集印刷他)
研究会費	100,000	150,000	50,000	年2回(講演料、旅費、アルバイト他)
見学会費	20,000	20,000	0	
調査研究費	50,000	350,000	300,000	
通信運搬費	100,000	300,000	200,000	会誌送付(年2回)+会費請求+委員会開催通知他
消耗品費	70,000	100,000	30,000	事務局他
印刷製本費	700,000	1,100,000	400,000	会誌印刷(年2回)
出版編集費	150,000	200,000	50,000	編集担当、校正担当、査読料、原稿料
旅費交通費	350,000	100,000	250,000	理事運営委員会、事務担当者、官公庁
青木賞費	50,000	37,000	13,000	選考委員、表彰委員、委員長+幹事、賞品代
雑費	150,000	300,000	150,000	各種手数料
2 管理費	1,812,000	1,600,000	212,000	
事務人件費	650,000	600,000	50,000	事務担当手当+HP維持費
業務委託費	1,162,000	1,000,000	162,000	PEN委託
3 予備費	100,000	100,000	0	
予備	100,000	100,000	0	
当期支出合計 (C)	4,002,000	5,087,000	1,085,000	
当期収支差額 (A)-(C)	33,200	1,233,150	1,266,350	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	113,200	633,150	746,350	